

コロニー山口

発行／社会福祉法人 山口県コロニー協会 防府市大字台道10522番地
TEL 0835-32-0069 <https://www.ycolony.or.jp/>



理事長就任のご挨拶

理事長 神本 大輔

日頃より、当法人の事業運営にご理解とご協力をいただき、感謝を申し上げます。

令和8年7月1日に、歴史と伝統のある社会福祉法人山口県コロナ協会の理事長に若輩ながら就任いたしました。これまでの歴代の理事長の後を受け、理事長として当法人に携わることの責任の重大さを痛感しておりますが、就任にあたりご挨拶申し上げます。

まず初めに、岡本幸生前理事長には理事長在任の9年間、当法人の発展に多大な貢献をなされたことに敬意を表します。この岡本幸生前理事長の考えを継承し、ご利用者さま一人一人が安心・安全に暮らしていくために、私たちのサービスも時代の流れやニーズに合わせて日々進化させていきたいと思っています。良いところはそのままに、変化する社会のニーズには敏感かつ速やかに対応しながら、常にご利用者さまご本人とご家族や当法人を支えていただいている関係者の皆様に信頼される存在であり続けたいと考えております。

そのためには、ここで働く職員の皆さんをはじめ、たくさんの方の大きな力が必要となります。幸い、当法人は素晴らしい職員に恵まれています。さらに質の高いサービスの提供を目指し、常に向上心を持って取り組んでまいります。そして、私たちの仕事を通してご利用者さまをはじめ、地域の皆様に笑顔を届け続けたいと思っています。

歴代の理事長同様、引き続き皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。理事長就任に当たってのご挨拶とさせていただきます。

就任あいさつ

業務執行理事 栗屋 健斗

7月から業務執行理事に就任する栗屋健斗です。

私は幼い頃からプロレスが好きで、特にジャイアント馬場やアントニオ猪木の試合はテレビにかじりついて観ていました。「この道を行けばどうなるものか、危ぶむことなかれ。危ぶめば道はなし。踏み出せばその一足が道となり、その一足が道となる。迷わず行けよ、行けばわかるさ。」というアントニオ猪木の言葉が自分自身の座右の銘にもなっています。

協会の歴史から考えるとわずかな期間ですが、私が在職している10年の間にも様々な変化が協会内であったと感じます。特に感じるのは利用者数の減少、報酬改定等による経営面への影響、そして施設入所者の高齢化です。その中でも利用者数の減少に関しては協会全体で協力して取り組むべき重要な課題だと思っています。私が入職した10年前は毎年一定数の新規利用者がそれぞれ別の事業所にいるというイメージでした。しかし、ここ数年では他事業所の増加もあり、進路説明会などに参加しても当協会に話を聞きにきてくださる保護者の方が減っている印象です。

この局面を打開するために私の座右の銘の通り、現状に満足することなく新しい一歩を踏み出すことが今こそ大切であると考えています。利用者の方の記憶に残る楽しい日が1日でも多く作れるようこれからも日々邁進していきたいと思っています。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

理事長の退任にあたり

岡本 幸生

平成二十六年四月から本協会のお世話になり、平成三十年四月からは、前理事長の急病により、急遽わたくしが理事長を務めさせていただくことになりました。思い起こせば、当時の協会は、国の障害者支援制度の変更に伴い、平成二十四年度から赤字が続き、経営改善の取組が喫緊の最重要課題でした。

私は、前理事長が取り組まれていた経営改善の取組を引き継いで赤字から脱却することを目指しました。その結果、職員を始め皆様のご理解とご協力を得ることができて、令和元年度から順調に黒字の計上が三年間続きました。しかし、コロナ禍の中でクラスターの発生等の影響を強く受け、令和四年度と五年度は赤字に転落してしまいました。令和六年度からは再び黒字に戻ることができました。今後も職員全員が一丸となり改革を更に推し進め、益々本協会の経営基盤が盤石なものになり、老朽化した施設の改修が一日も早く実現することを強く願っています。

協会にお世話になった十二年間には苦しいこともありましたが、私の一番の思い出は、職員を始め多くの方々にご協力いただけたことです。多くの利用者の方々とお話ができ、楽しい思い出がたくさんできたことは、私の人生の大きな宝物の一つになりました。

最後に、利用者を始め関係各位のご健康とご多幸を祈念すると共に、私を支えていただいた職員や多くの皆様に深く感謝申し上げます。退任のご挨拶といたします。

本当にありがとうございました。

令和7年度事業報告

概況（協会を取りまく背景）

令和4年2月から続くロシアのウクライナへの侵略戦争が、石油不足をはじめとして世界経済が大きく混乱した状況が続く中、更に2月には突然イスラエルとアメリカ合衆国がイランを攻撃して戦争がはじまりました。

この影響でペルシヤ湾が封鎖されて原油の輸送が滞り、世界経済は更に大きな不安と混乱が高まり、政府は3月に国家備蓄石油の放出を決めました。このように世界の情勢が全く見通せず、私たちの力ではどうしようもない問題が次から次ぎへと続いて世界中が混乱した一年でした。

国内においては、昨年から続いていた米不足がますます大きな問題になり米価が値上がり、備蓄米が放出され古米・古古米等がニュースで話題になりました。これらの問題は、協会が提供している給食の食材費の値上がりにも深く関係し大きな課題となりました。

また、国内の政治において10月に日本憲政史上初の女性総理大臣の高市新政権が誕生しました。その後、ガソリンの暫定税率が12月に廃止され、送迎車の燃料費が安くなり協会の運営経費が軽減されました。国内の経済も良い方向に向かうのではと期待も持てました。

最低賃金の大幅な引き上げがあり職員の処遇が改善できるという意味では朗報でしたが、協会運営にとっては人件費の増加に繋がり次の支援費の改訂は令和9年度であるためこれも課題の一つになりました。

（新型コロナウイルス感染症等）

感染症の感染防止策を続けながら事業を運営しましたが、残念ながら8月と9月に入所者の中なら合計で14名の陽性者がでました。既に準備していた「新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画」（令和6年3月策定）に従って対応し、大きな混乱もなく治まりました。

その後も、通所利用者や職員の中から陽性者が数名でましたが、前記の業務計画に従って取組み感染防止策をとりながら支援を続け、新型コロナウイルス以外の感染症の発生はなく一年間事業を運営することができました。
（就労継続支援事業）

キャンパスとワークショップで行っている就労継続支援事業は、企業から受注した軽作業が利用者の工賃になっていますが、軽作業の受注量はコロナ禍以前と比較すると、徐々に改善してきましたが、まだまだの状況が続いており、社会の生産活動が元に戻り軽作業量が増え利用者の工賃が一円でも多く支払えることを待ち望んでいます。

また、キャンパスで生産している「鶏卵せんべい」では、材料である小麦粉や鶏卵を始めとする諸物価の値上がりにより、せんべいの販売収益が圧縮され利用者の工賃にも影響がでています。一日も早く経済活動が復活し、原材料費が安定することを願っています。

印刷事業を行っているワークショップでは、オンデマンド印刷機を本格的に活用して事業を行いました。ペーパーレス化の進展による印刷事業を取り巻く環境の厳しさは増している状況が続きました。
（生活介護・入所支援事業）

ワークセンターの「夜間は入所支援・日中は生活介護の支援」を行う障害者支援施設においては、「地域移行推進会議」の設置と運用が令和7年度から義務付けられましたが、9月に地域移行推進会議を開催し、各委員に施設の見学と意見交換等を行いました。今後引き続き推進会議の充実を図り支援を続けたいと思います。また、令和8年度からは、「地域移行等意向確認」の事務が開始されるため、令和7年度に指針の策定と共に規程を改正し、担当者を選出する準備を整えました。

今後、生活介護・入所支援事業が更に充実できるよう取り組んでまいります。

以上のとおり、本協会にとっては厳しい令和7年度でしたが、一日も早く平穏な日常に戻れることを強く願っています。

第三号第一様式(第二十七条第四項関係)

法人名 財団法人 山白果コミュニティ協会

法人単位貸借対照表

(令和8年3月31日現在)

(単位:円)

勘定科目	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	190,897,833	174,774,876	6,182,954	流動負債	56,632,858	57,841,830	△1,208,972
現金預金	127,189,603	123,531,401	3,658,202	事業未払金	29,659,010	28,454,469	△1,203,541
事業未収金	48,634,527	45,186,986	3,437,541	1年以内返済予定設備資金借入金	10,608,000	10,608,000	0
貯蔵品	3,000	4,000	△1,000	1年以内返済予定リース債務	1,518,024	2,015,688	△497,664
商品・製品	601,047	617,656	△16,610	預り金	11,289	9,450	1,839
仕掛品	393,800	1,023,800	△629,800	職員預り金	3,487,184	3,345,193	121,971
原材料	3,271,663	3,867,618	△595,955	前受金	825,745	2,580,300	△1,754,557
立替金	814,198	483,506	330,692	買入引当金	10,544,676	10,828,728	△284,102
前払金	0	110	△110				
固定資産	784,702,022	824,504,951	△29,802,929	固定負債	90,823,031	103,169,755	△12,376,724
基本財産	692,189,609	719,924,940	△27,735,340	設備資金借入金	65,334,000	75,942,000	△10,608,000
土地	57,356,820	57,356,820	0	リース債務	3,655,290	5,174,314	△1,518,024
建物	634,832,789	662,568,120	△27,735,340	退職給付引当金	21,832,741	22,083,441	△250,700
その他の固定資産	102,512,422	104,580,011	△2,067,589	負債の部合計	147,455,889	161,041,585	△13,585,696
建物	8,891,653	11,494,066	△2,602,413	純資産の部			
構築物	2	2	0	0. 基本金	205,290,081	205,290,081	0
機械及び装置	12,955,493	15,384,771	△2,399,278	第一号基本金	47,833,581	47,833,581	0
車両運搬具	4,222,852	5,833,593	△1,609,741	第二号基本金	157,455,500	157,456,500	0
器具及び備品	4,766,065	6,698,580	△1,932,485	国庫補助金等特別積立金	399,790,517	422,550,499	△22,759,982
有形リース資産	5,174,314	7,190,002	△2,015,688	その他の積立金	43,055,686	34,835,275	8,770,411
権利	828,219	828,210	0	施設整備等積立金	41,545,402	33,035,258	8,511,144
ソフトウエア	66,428	93,308	△24,882	設備等整備積立金	2,359,284	1,806,017	259,267
退職給付引当資産	21,832,741	22,083,441	△250,700	次期繰越活動増減差額	179,467,682	175,512,390	3,955,292
施設整備等積立資産	41,545,402	33,035,258	8,511,144	(うち当期活動増減差額)	179,467,682	175,512,390	3,955,292
設備等整備積立資産	2,359,284	1,806,017	259,267		179,467,682	175,512,390	3,955,292
その他の固定資産	135,689	138,786	△3,097	純資産の部合計	876,153,966	838,168,245	△10,034,276
資産の部合計	975,699,855	999,229,830	△23,619,975	負債及び純資産の部合計	975,699,855	999,229,830	△23,619,975

第二号第一様式(第二十三条第四項関係)

法人名 財団法人山白果コミュニティ協会

法人単位事業活動計算書

(自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)

(単位:円)

サ ー ビ ス 活 動 外 の 部	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サ ー ビ ス 活 動 外 の 部	収益 受託支援事業収益	111,100,414	117,471,906	△6,371,492	
	障害福祉サービス等事業収益	287,808,180	279,099,003	8,709,177	
	その他の収益	2,151,530	2,781,580	△630,050	
	サービス活動収益合計(1)	401,060,124	399,262,489	1,797,635	
	費用 人件費	184,116,902	182,538,735	1,578,167	
	事業費	43,450,501	42,354,770	1,095,731	
	事務費	36,834,633	35,750,683	1,183,950	
	受託支援事業費用	113,142,348	120,819,590	△7,676,242	
	減価償却費	36,736,659	40,027,985	△3,288,326	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△21,481,270	△24,265,439	2,784,169	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	392,902,773	397,225,324	△4,322,551	
サ ー ビ ス 活 動 外 の 部		8,157,351	2,037,165	6,120,186	
	収益 受取利息配当金収益	178,386	45,474	132,912	
	その他のサービス活動外収益	5,996,064	5,117,090	△879,006	
		サービス活動外収益合計(4)	5,274,470	5,182,564	111,906
サ ー ビ ス 活 動 外 の 部	費用 支払利息	562,550	261,094	301,456	
	その他のサービス活動外費用	152,565	22,827	129,738	
	サービス活動外費用合計(5)	716,115	283,921	432,194	
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	4,558,355	4,898,643	△320,288	
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	12,715,706	6,915,808	5,799,898
	特別収益 施設整備等補助金収益	0	7,992,750	△7,992,750	
	増 固定資産売却益	9,999	31,769	△21,770	
	増 特別収益計(8)	9,999	8,024,519	△8,014,520	
	減 費用 固定資産売却損・処分損	2	3	△1	
	減 費用 国庫補助金等特別積立金取崩額	0	7,992,750	△7,992,750	
サ ー ビ ス 活 動 外 の 部		2	7,992,753	△7,992,751	
		特別費用計(9)			
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	9,997	31,766	△21,769
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	12,725,703	6,947,574	5,778,129
	繰越 前期繰越活動増減差額(12)	175,512,390	178,565,140	△3,052,750	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	188,238,093	185,512,714	2,725,379	
	繰越 基本金取崩額(14)	0	0	0	
	活動 その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	
	活動 その他の積立金積立額(16)	8,770,411	10,000,324	△1,229,913	
サ ー ビ ス 活 動 外 の 部					
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	179,467,682	175,512,390	3,955,292	

令和 8 年度事業計画

基本方針

令和 7 年度は、令和 3 年から続けている新型コロナウイルス感染症等の感染症防止策（マスク、手洗い、換気等）を続けながらの支援を行う協会運営でした。

しかし、夏には入所利用者の中から陽性者が出て感染症対策指針に基づいた感染防止策の支援を続け、感染が拡大することなく対応することができました。

感染症による症状は以前に比べると少しは軽くなっているようですが、感染症に対する免疫が低い利用者が多いため、今後も引き続き感染症防止策は続けて支援をしたいと考えています。

また、令和 4 年 2 月にロシアがウクライナへ侵攻して始まった戦争は、終息の目途も立たず、世界経済の混乱は続いたままです。世界中の混乱に加え国内においては、お米をはじめとする諸物価の高騰が続き、将来の見通しが立てづらい一年でした。

協会の事業運営においては、給食の食材費や光熱水費の値上がり等で大きな影響がありました。また、施設の老朽化に伴う改築計画においても資材費の高騰や労働者不足等で建設会社に尋ねても 1 年先の建築費を見積もることが難しいほど値上がりが続いているため、数年前に策定した計画の見直しが必要になりました。安定した事業運営の為には、早く事業計画を見直しそれを実行していくことが協会運営における大きな課題になりました。しかし、諸物価の見通しが立たず計画の見直しが容易にはできない状況が続いてきました。

しかし、10 月に日本憲政史上初となる女性総理大臣が誕生し、高市新政権誕生後すぐに、ガソリンの暫定税率が 12 月に廃止され、送迎車の燃料費が安くなり送迎に掛かる経費が軽減されました。また、

最低賃金の大幅な引き上げがあり、職員の処遇が改善できるという意味では朗報でしたが、協会の運営には人件費の増加に繋がり令和 8 年度は支援費の改訂年ではないことで令和 8 年度における協会運営の課題の一つになりました。

令和 8 年 2 月に衆議院の改選があり、一日も早く政治が安定し、令和 8 年度は物価が安定し将来の予測ができる日本になることを願っています。

建設費の高騰が続いて見直しが必要になっている 2 号棟の老朽化対策（改築）を含めた協会全体の事業運営計画を令和 8 年度に見直したいと考えています。

昨年 12 月に都市ガスの漏れにより 20 件を超える火災が宇部市で発生し、広い範囲でガスの供給が数日間停止され市民生活に大きな影響が出ました。近隣の市で事故が発生し、改めてライフラインの万一の事故に備えた準備の重要性を認識させられたところです。

これまで続けてきた自然災害や火災を想定した避難訓練や施設設備の点検等を令和 8 年度も行い、安全で安心できる協会の運営に努めます。

利用者やご家族そして地域の皆様に、コロニー協会の事業内容をご理解いただけるようにすることを目的に、令和 7 年度から始めた「地域連携推進会議」の充実を目指すと共に、ホームページや SNS 等で本協会の支援等の情報発信に努めます。

これからの本協会は、職員自らが理想とする法人を目指して運営をしていくことが大切だと考えています。利用者やそのご家族は勿論のこと、職員も誇りと自信をもって支援が継続できる協会になれるよう、一丸となって進んでいきたいと思っています。

令和 8 年度役員等名簿

(令和 8 年 7 月 1 日～)

理 事 長	神本 大輔
業務執行理事	栗屋 健斗
理 事	岡本 幸生
"	相川 文仁
"	久保 潤爾
"	小藤ひとみ

監 事	毛利山正行	評 議 員	能野 伸治
"	田内 信浩	"	野村 幹男
評 議 員	杉山 正胡	"	小川 浩三
"	河邊 智之	顧 問	小澤 克介
"	松田 信夫	"	山根 康夫
"	山本 亨		

防府市市民栄光賞受賞

3 月 9 日（月）、防府市役所にて市民栄光賞の授賞式があり、村上武夫さんが出席されました。

昨年 10 月 25 日から 3 日間の日程で行われた全国障害者スポーツ大会で、ジャベリックスロー金メダル、100m 走銀メダルという成績をおさめられた村上さん。その功績を認められ、この度の受賞となりました。

防府市市民栄光賞表彰式

村上さん、
受賞
おめでとうございます！



令和 7 年度

定年退職者を送る会

退職者 久野 令子さん

令和 8 年 3 月 31 日に定年退職者 1 名を送る会を行いました。長年にわたり利用者さんの健康管理や当協会の発展にご尽力いただき大変ありがとうございました。

今後のご健康とご多幸を職員一同、心より願っております。



4月2日(水)

鰐鳴八幡宮

お花見ツアー

ワークセンターでは、お花見として、コロニー内と鰐鳴八幡宮の桜を見に行ってきました。

コンビニでお菓子を買って、咲いた桜を見ながらモグモグ。綺麗な桜を見ながらのお菓子は、特別美味しく感じたのではないのでしょうか？数名、花より団子の方もチラホラ…でした(笑)



4月11日(土)

お買い物レク ゆめタウン



買い物レクでゆめタウンに行ってきました。まず買い物前の腹ごしらえで各々好きなものを食べました。いつもとは違ったメニューが食べられるとあって皆さんおいしそうに召し上がっていました。

お腹いっぱいになった後はお目当ての買い物をするために店内を歩き回ります。駄菓子屋さんでは「これもいいな。」「あれも買おう。」と買い物かごがいっぱいになるまで買われていました。

久しぶりの買い物をみなさん満喫された様子でした。



5月24日(日)

キラリンピック フライングディスク

第26回山口県障害者スポーツ大会(キラリンピック)、フライングディスクの競技に参加しました。アキュラシーとディスタンスの2種目が行われました。アキュラシーは、円形のゴールに向かってディスクを投げ、10回連続で投げたうち、何回ゴールを通過できるかを競い、ディスタンスは、ディスクの飛距離を競います。みなさん一投ずつ集中して投げられ、上手く投げられた時はとても喜ばれていました。

大会関係者の皆さま、ありがとうございました。



新入職員紹介

ワークセンター 住谷奈緒美

2月よりワークセンターに配属になりました住谷奈緒美です。

前職は別業界で働いていました。福祉業界は初めてで、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、少しずつ仕事を覚えて頑張っていきたいと思いをします。

ご指導よろしくお願ひいたします。

ワークセンター 重富 優太

2月よりワークセンターに配属になりました重富優太です。

山口県出身ですが、前職では大阪の重度身体障がい者入所施設で勤務していたため、関西弁が出てしまいます。職場に早く馴染み、利用者様にも安心して接していただけるよう、笑顔と丁寧な対応を大切に頑張ります。よろしくお願ひいたします。

ワークセンター 河野 治美

3月よりワークセンターに配属になりました河野治美です。

支援の仕事には以前より興味はあったのですが、前職とまったく異なる職種であり、おおきな不安がありましたが、職場の皆様に温かいご指導をいただいで少しずつ仕事も覚えてきています。

日々成長し、よりよい仕事ができるよう努めますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

キャンパス 山中 佳太

3月よりキャンパスに配属になりました山中佳太です。

至らない部分も多く、職員の先輩方のみならず、利用者の皆様にも業務内容をご指導いただいでおります。福祉という初めての業界で、ご迷惑をおかけする事も多いと思いますが誠心誠意勤めてまいりますのでよろしくお願ひいたします。

キャンパス 徳重 千紘

5月よりキャンパスに配属になりました徳重千紘です。

前職は、介護職を10年間務めておりました。以前より障害者支援に携わりたいと思い、新しい環境で経験を積みながら、ご利用者様に寄り添い、支えられるよう頑張っていきたいと思いをします。これまでの経験を活かし、明るく丁寧に取り組んでまいりますので、ご指導のほどよろしくお願ひ致します。

主な行事 令和8年4月～令和8年6月

4月	1日	年度始め式・辞令交付式
	4日	所内レクリエーション(お花見)
	9日	定期健康診断(入所者、35歳未満職員)
	18日	所内レクリエーション
	29日	入浴合同レクリエーション
5月	10日	第26回キラリンピック(陸上競技)参加
	16日	所内レクリエーション
	21日	防府市長選挙不在者投票
	24日	第26回キラリンピック(フライングディスク)参加
	26日	監事監査
6月	2日	土砂災害避難訓練
	4日	第1回理事会
	6日	所内レクリエーション
	14日	ふれあいのスポーツ広場(ナイスハート基金)参加
	24日	勝軍地蔵縁日法要
	25日	定時評議員会
	27日	所内レクリエーション

訃報

甲斐 眞さん

令和8年1月9日入院先の病院でお亡くなりになりました。授産工場の時から始まり、その後は入所・生活介護・就労継続支援B型を併用され長くコロニーで過ごされました。作業もレクリエーションも何事にも楽しそうに一生懸命に取り組まれていて誰からも愛されていました。今でもその時の笑顔は忘れられません、たくさんの思い出をありがとうございました。

村田 常盛さん

令和8年4月17日、病気の為入院先の病院でお亡くなりになりました。

昭和55年11月に入所されてからは印刷の仕上げ作業に尽力されていました。その後はコロニーキャンパスで自動車部品に係る軽作業に尽力されていました。コロニーきっての愛煙家で所内の喫煙スペースで寡黙にタバコを吸う姿が今でも思い出されます。

謹んでご冥福をお祈り致します。

令和7年12月～令和8年5月末

入所者 キャンパス……2名
ワークセンター……2名
ワークショップ……1名

退所者 キャンパス……4名
ワークセンター……2名
ワークショップ……3名



山口コロニーワークセンター



山口コロニーキャンパス



ワークショップ・山口



鶏卵せんべい



キャンパスにて生産しているものを販売しています！

くわしくは電話にてお問い合わせ下さい。

☎0835-32-0069

手やき

勝軍地蔵尊せんべい

種類

いろいろ

ピーナッツ 焼きえび
ごま プレーン 竹炭
くるみ 青のり

